

だめか報

10/1

No. 316

毎月1日・15日発行

□発行 新潟県亀田町役場 ☎(81)-2111(代)

□編集 企画課



梨の取り入れ

実りの秋 収穫まつさかり

——とじて保存しましょう——

澄みきった青空のもと、農家の人たちは田畑にでて農作業に大わらわです。
実りの秋・収穫の秋を迎え、農家の人たちの心はずんていままです。
田圃は、稲穂が黄金色の波をうちコンバインが動き、刈

り取られた稲からモミが自動的に分離され、備えられた袋に次々と詰められていきます。
また梨畑は、秋の味覚のひとつである亀田特産廿世紀の取り入れが最盛期です。
今年の梨は、味もよくみなさんの食卓を飾っています。

- 2頁・九月定例町議会 水道事業会計決算を認定
- 3頁・空きかんゼロ作戦 十月一日から共同募金
- 3頁・空きかんゼロ作戦 十月十四日実施
- 町史編さん室だより
- 4頁・行政、年金合同相談所開設 十月十九日
- 5頁・少年の主張三市三浦大会 梅沢君優勝
- 秋の狂犬病予防注射
- 6頁・町民文化祭出品作品を募集
- 7頁・随想、俳句、短歌
- 8頁・保健課十月の予定

おもな記事

人口のうごき

世帯数 7,571(+8) 59.9.1現在

区分	人口	出生	死亡	転入	転出
総数	28,759(+42)	32	18	89	61
男	13,956(+19)	18	12	42	29
女	14,803(+23)	14	6	47	32

住民登録人口 ()は前月比

九月定例町議会

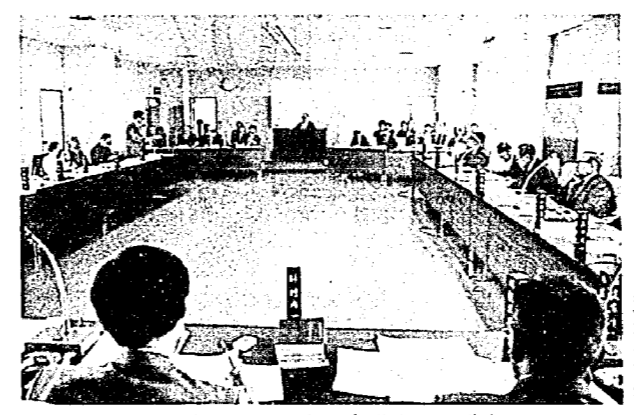
昭和五十八年度 水道事業会計決算を認定

九月定例町議会は、さる九月十九日から二十一日まで三日間の会期で開催されました。

今回の議会には、昭和五十八年度亀田町水道事業会計決算認定など九議案が提案され原案どおり可決されました。

◇可決された議案

- ・ 亀田町議会議員に対する期末手当支給条例の一部改正
- ・ 亀田町財政事情の公表に



提案された議案を審議する町議会

- △ 要望書
 - ・ 在日韓国人の権益に関する要望書
 - ・ 在日本大韓民国居留民団新津支部団長 金 尚龍 (採択)
- △ 意見書
 - ・ 地方自治体に負担を転嫁する補助金の一律一割削減に反対する意見書
 - 亀田町婦人会連合会 (採択)
- △ 意見書
 - ・ 人事院勧告の完全実施を求める意見書
 - 亀田町議会議員 小熊 三郎 (採択)
- △ 意見書
 - ・ 医療費負担の軽減を求める意見書
 - 亀田町議会議員 小熊 三郎 (採択)

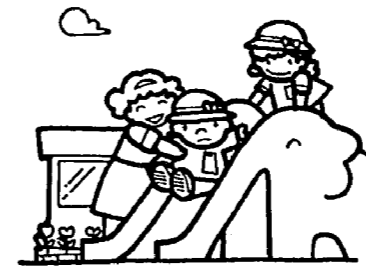
やさしさを隣人に

十月一日から共同募金

十月一日より全国一斉に共同募金が始まります。私達の暮らしには、恵まれない生活環境にある方からだの不自由な方、寂たきりやひとり暮らしのお年寄りなどあなたの協力を必要とする人たちがたくさんいます。

共同募金は、このような人たちが、よりしあわせな生活ができるように、みんなが助けあって協力する運動で今年で三十八回目をむかえます。高齢化社会が進む今日では、福祉活動の強化は全町民の課題です。とくに若い世代の方々の理解と参加を欠くことができません。どうかこれからの活動をささえる共同募金にみなさんの積極的なお力添えをお願いします。

みなさんから寄せられた厚いお金は、町社会福祉協議会を通じてそれぞれ施設や在宅障害者、ねたきり老人等に配分されます。



10月14日 空きかんゼ口作戦

秋の全町一斉回収実施

町では、春に引き続き秋の要領で秋の全町一斉回収を実施しますので、町民のみなさんのご協力をお願いします。

★一斉回収の日時
十月十四日(日)
午前九時から十二時まで実施する場合、午前七時に花火を打ち上げます。(雨天で中止の場合は十月二十一日に延期)

★回収の区域
・ 各区の地域内の道路、側溝、広場、農地などを区長



全町あげて環境美化

または衛生支部長がリーダーとなり回収を行います。

・ 町内の住民の協力で回収

また、別添配布のゴミ袋に入れた各区分のゴミステーション(指定場所)に十二時までに持参してください。

・ 午後から町および業者の運搬車で搬出します。

★回収の対象物
空きかん(ゴミ袋)、空きビン(オレンジ袋)、ゴミ類(白色袋)

※ 園・県道および大規模農道の沿線は、十三協力要請団体および各農家組合で回収します。

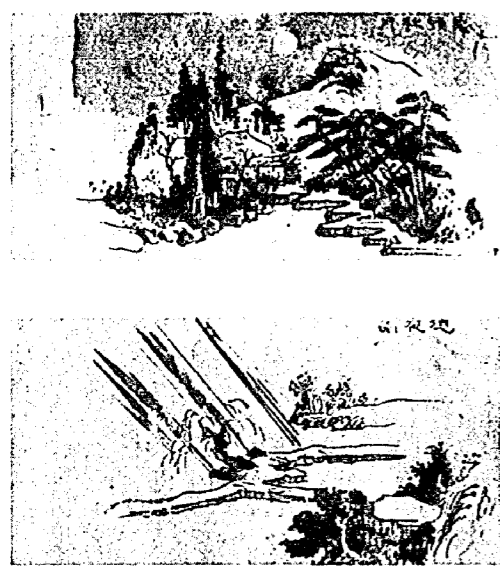


今回より、鳥屋野湯クリン作戦の一環として、きれいな水辺をとり戻すため鳥屋野湯へ通じる河川沿岸の回収も実施しますのでご協力をお願いします。

町史編さん室 だより

魚頭庵(亀田寺の前身)
魚頭秋月

上にもあり、松風の音は静かて鶴の鳴き声のようでもある。月光を浴びた庵の一遍には、浄理を求めて座禪



が行われているのであろう。亀田寺山は村木家五代の名主善右エ門が藩主から拝受した山で、亀田寺の山号村木山はこの山の持主の名をとったのである。

稲葉晴風
稲葉山の松風の音は雲と共に去来する。麓の畑には畑仕事の一服休みか、背空の下で老人が何やら話し合っている。



今宵は雪もなし。雪明りで向山もくつきりと見える。雪見酒に誘う客人もあつたし、向山を眺めながら一杯やろうか。当時の向山は老松繁り、平地、池、桃林、チューリップ畑と、子供たちの絶好の遊び場であり、若い男女の恋の花咲く場所でもあつた。



堤夜雨
低くたれこめた暗雲からの雨は、堤の柳の芽をかすめ、春の雪しろ水をたたえ

た水面に、小さな波紋を交錯させている。堤の道には人影もなく、ただ蛙の鳴き声だけが雨音に負けじと賑やかに聞えてくる。

かつては、稲葉から水道山の間は排水も悪く、稲のい頃は一大湖の様であつた。稲葉道の南東に蓮池があつたのと、そんじの方も多からう。昔の名残りか。

わたしたちは やさしさを集めます

歳時記

遠足

秋、楽しい遠足のシーズンです。遠足は、遠い足と書くのに、なぜ歩かないで、バスや電車で行くのかな」と子供の時に不思議に思つたもので

文部省の小学校指要領には、遠足は、校外で見聞を広め、集団生活の決まりや道徳について、望ましい体験をつむことができる特別活動として位置づけられています。

ところが、ひところは、デラックス・バスなどでむやみに遠出するのが流行しました。それが、最近になって、森の中を歩き自然観察をしたり、森林浴をしたりするプランを採り入れる学校も目につくようになりました。もともと、北海道などでは、以前から炊事遠足といって全校の生徒がそ

ろつて川べりなどに行き、みんなで炊事をし食事をとるといふ行事をやっている学校がたくさんあるようです。

さて、秋の話題をもう一つ。

毎年この時期になると、収穫を祝つて各地で「米」にまつわるいろいろな祭りや催しが行われます。日本人の主食は、何と

いってもお米。そのお米を中心とする「日本型食生活」は、日本人全体で見ると、ほほ理想的な栄養摂取の状態にあります。しかし世代によっては食事内容に偏りが見られます。

理想的な栄養をとるためにも、若い人たちが子供を持つお母さん方は、もう一度毎日の食生活を見直してみたいかがでしょうか。

税金ミニ教室

マイホームと税金

マイホームを持つとすると、資金計画などいろいろな問題がでてきます。税金のことも気にかかるところの一つです。そこでマイホームを持つ場合にかかわる税金について、そのあらましを説明しましょう。

〈登録免許税〉
土地や建物などの不動産を取得すると登記をします。このときかかるのが登録免許税です。

例えば、新築した建物の所有権保存登記の税率は、その建物の価額(原則として、固定資産税評価額)の〇・六%です。

なお、住宅を取得したときの登記が一定の要件に当てはまるときは、税率が軽減される特例があります。

〈不動産取得税〉
不動産を取得したときにかかるのが不動産取得税(県税)です。

住宅にかかる税額は、その住宅の価格(原則として、固定資産税評価額)に三%の税率を掛けた金額です。

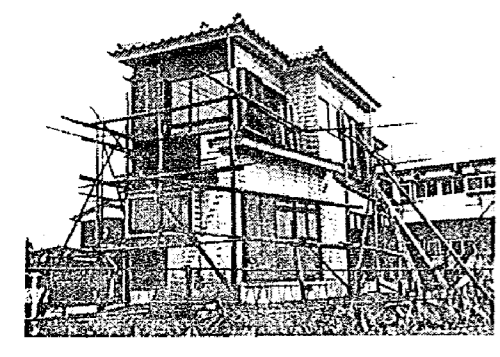
なお、住宅を取得した場合において、その住宅が一定の要件に当てはまるときは、税額

が軽減される特例があります。

〈住宅取得控除〉
自分が居住するための住宅を取得し、その住宅が一定の要件に当てはまるときは、入居した年から三年間住宅取得控除として一定額が所得税額から控除されます。

昭和五十九年中に入居した場合のその控除額は、住宅ローン等の一年間の返済額のうち三〇万円を超える部分の一八%(最高一五万円)となっています。

住宅取得控除が受けられるための要件などは、最寄りの税務署、税務相談室へおたずねください。



行政、年金合同相談所開設

10月19日 役場協資料館

●行政相談
皆さんの日常生活の中で役所や公社・公団などが行っている仕事について説明に納得できない。処理のしかたが間違っている。処理がおそくてたいへん困る。

●このようにしてほしいのだが。

●どうすればよいかわからない。

●国民年金相談
・国民年金に加入したい。
・福祉年金、障害年金について聞きたい。
・保険料を納めたくても納められない。

これらの相談をお持ちの方は、お気軽においでください。

◆とき：十月十九日(金)

午前十時から午後三時
◆ところ：役場協資料館
◆相談担当者 茅原清史氏
なお、定期行政相談日は毎月一日に日本栄徳寺で開設し相談に応じています。

●法務総合
●無料相談所
◆とき：十月三日(水)
午前十時から午後三時
◆ところ：亀田町役場協資料館

●相談内容：土地・建物の売買、相続等の登記問題
●相談担当者：法務局係員
人権擁護委員、司法書士
土地、家屋調査士
相談料：無料

心配ごと相談

◆とき：毎週水曜日
午前九時から午後三時
◆ところ：役場協資料館二階
※相談は無料で、秘密は厳守します。

10月の交通指導目標

- 歩行者の事故防止 (とび出し、横断中の事故防止)
- 自転車の事故防止 (交差点での一時停止と安全確認)



友情を深めた 親善野球大会

子どもたちのふれ合いと友情を深めようと、さる九月十五日午前九時三十分から西小グラウンドで親善野球大会が行われました。大会には、緑町チーム、西町(五二区)チームと中条町星の宮リトルクラブの三チームが参加。

会場の西小グラウンドには、父兄がつかい子どもたちが走り回り、投げたりする好プレーに盛んな拍手がおこられ、終始なごやかな雰囲気の中で地域ぐるみの交流を深めました。

また、十月七日には五二区大運動会で中条町星の宮町を招待し、より一層の親睦を深めます。

10月のレインボープラン日程

ゲートボールクラブ	1日・18日(大ホール)	午前9時30分~12時
活花クラブ	2日・16日(講習室)	午前9時30分~12時
囲碁クラブ	2日・16日(倶楽部)	午前9時30分~午後4時
水墨画クラブ	9日・23日(講習室)	午前9時30分~12時
水芸クラブ	3日・24日(図書室)	午前9時30分~12時
将棋クラブ	3日・17日(講習室)	午前9時30分~午後4時
軽スポーツクラブ	3日・17日(大ホール)	午後1時30分~4時
書道クラブ	17日・31日(図書室)	午前9時30分~12時
俳句クラブ	4日・18日(倶楽部)	午後1時~4時
民謡演奏会	5日・19日(大ホール)	午前10時~12時
書道発表会	11日・25日(図書室)	午後1時~4時
民謡演奏会	13日・27日(農園場)	午後1時~4時
詩吟	12日・26日(農園場)	午後1時~4時
	6日・20日(講習室)	午前9時30分~12時

広報ひろば

亀田町の議員定数削減を提言する(その一)

新明町四 佐藤吉喜

昨年、新潟日報に議員定数削減についての私の投書に対して、多くの友人、知人、先輩から賛成激励の電話や共鳴をいただいた。いまこの問題について再び町民の皆さんに訴える。

まず、隣村横越村では、法定数二十二人から四人削減して十八人にした。

理由は「国、地方を問わず行政改革に取り組んでおり、議会自ら行革推進の範を示す」とあった。

小須戸町では、法定数二十六人を四十二人に四人、十六人を四十二年に四人、さらに昨年二人減らして現

議員は二十一人である。村松町は法定数は三十人だが、現議員数は二十二二人である。

また、人口三万以上の加茂市では法定数三十人を四十二年に六人、昨年更に二人減らして二十二人にした。燕市でも法定数三十人を五十四年に四人、昨年更に四人減らして現議員は二十二人である。(つづく)

少年の主張三市中蒲大会 亀中 梅沢君みごと優勝

九月十日、三市中蒲地区の少年の主張大会が小須戸中学校体育館で開かれました。

三市中蒲地区から選ばれた十二人の代表たちが力強く発表し、とく問題になっている中学生の非行などを感ぜさせない健全な考えを示しておりました。

亀田中学校からは梅沢誠一君(一年生)が「空きかん回収に参加して思うこと」と題し、公德心の欠如を訴え、参加者に大きな共感を呼んでおりました。

空きかん回収に参加して思うこと

一年七組 梅沢 誠一

五月十三日、日曜日、僕たちの町、亀田町では空きかんの全町一斉回収が実施されました。

当日は、あいにくの雨降りの天気でしたが、僕はボリースカウトの一員として回収活動に参加しました。

僕達に割り当てられた地域は、亀田バイパス、うの子湯の方面でした。僕達は、ビニール袋を片手に、雨にぬれながら空きかんやゴミなどを集めていました。そのとき、一台の白の自家用車が近づいてきました。そして僕達の目の前で、空きかんをボイと窓から投げ捨てて走り去ったのです。数人の家族で、どこかに遊びに行くようにも見えました。

その走り去る車を僕はじっと見ていました。声は出さなかつたが「馬鹿野郎」とどなりたい気持ちがあったと思います。

いやな気持ちで、その車の走り去るのを見ていました。僕は、このことについて、いろいろ考えてみました。

この日、回収活動に参加した人数は、全町で約三千五百名で、回収された空きかんやゴミ類は、二トント車で五分と聞いております。昨年の十月にも一斉回収が実施されたのですから半年でこれだけの量がボイボイと捨てられたのです。しかも自分達の住んでいる町の中でこれくらいも捨てられ

たのです。この中には僕達中学生や小学生の捨てたものも非常に多いのではないかと思います。僕も友達と学校のきまりを破って恥ずかしいのですが、掃毛の途中で買いたった空きかんが、飲み残しや飲みながら歩いているのを見ました。ゴミ箱があれば、からはそこに捨てるとは思いますが、ゴミ箱がなければボイ捨てをして、家まで持ち帰る人はいないと思います。

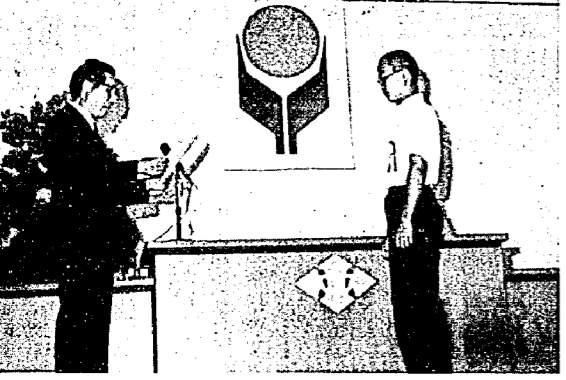
この回収運動に参加して、僕達、小学生も大いに反省しなければならぬと強く感じました。

僕は、目の前のかんを捨てて走り去った家族？を見つめて、その無神経ぶりという

よりも、これは人間の心の問題だと気づきました。平気でボイ捨てをするその心に大きな問題があるのだと思うのです。こういう公德心の欠けている人がいるかぎり、きれいな町、きれいな国土は望めないでしょう。公德心の向上は家庭でのしつけが大切だと思います。あきかんと捨てた人は大人です。注意しなければならぬおとなが、子供の前で悪い行いを見せているのです。

僕たちは、人に迷惑をかける、自分の行動には、自分で責任を持たなければならぬものなのだとこのことを、あきかん回収に参加して強く感じました。

第6回新潟県少年の主張大会三市中蒲地区大会



守門岳は山容も大きく、なだらかな稜線は女性的で積雪期になると滑降レースなどで有名です。

ことしの夏は気温も高くさぞ、みことな紅葉に彩どられていくことと思います。

とき：十月十四日(日)
午前六時 旧専愛前集合
参加費：三千元(写真代含む)

第二十七回 町民登山

(守門岳 一五三八M)

募集人員：四十人(定員になり次第締切ります)

申し込み先：十月五日(金)までにサカイ電化センター公民館(六八二一七二八)へ問い合わせ：サカイ電化センター(八二二七九〇〇)



大切にしていますか？あなたの目

10月10日は目の愛護デー

あなたの目は疲れていませんか。というのも、テレビ、読書、車の運転と、現代社会はとく目を使う機会が多いからです。

十月十日は「目の愛護デー」です。疲れがみのある目の目が近視にならないよう、また、近視がこれ以上すすまないように、次のことに気をつけましょう。

読書は姿勢を正して、目を本から三十一センチくらい離して読むようにしましょう。また、暗い所で本を読むのは避けましょう。テレビを長時間連続して見るのは避けましょう。一時間見たら、十五〜三十分は目を休ませるのが休息の目安です。

視力検査は努めて受けるようにしましょう。視力の低下がわかった場合は、速やかに専門医の診察を受けてください。

秋の狂犬病予防注射のお知らせ

月日	会場	時間
10.24(水)	早通神会館	9:30~10:15
	町民会館	10:40~11:40
	新栄信用組合本店	13:00~14:00
	新栄信用組合	14:30~15:30
10.26(金)	亀田区公民館	10:00~11:30
	東区公民館	13:00~14:30

秋の狂犬病予防注射を実施します。

▼狂犬病予防注射手数料
一、六〇〇円(登録する場合、他に二、一〇〇円が必要)

▼手数料、印鑑、ハガキ、愛犬手帳を持参してください。また、送付済のハガキには必要な事項を記入してください。

▼注射会場には、犬をおさえられる人がつれてきてください。当日は、会場での不用犬は引き取りません。

▼飼犬が死んだり、いなくなつた場合は保険課に届出ください。

町民文化祭 出品作品を募集



昨年出品作品

◆とき：十一月三日・四日
午前九時から午後八時
(四日は午後五時まで)
◆ところ：町民会館、公民館

●主催：教育委員会
(一)応募資格
 亀田町に在住および勤務する者(小中学生は除く)
(二)出品数
 各部門一人二点以内(書道部門は一人一点)
(三)出品料：無料
(四)出品部門および規定
 ●第一部：日本画(表装または仮表装・額入)
 ●第二部：書道(五〇字×一八〇字以内枠張裏つら仮巻)
 ●第三部：洋画(油絵、水彩)

●第四部：写真(四ツ切以上、パネル張または額入)
●第五部：工芸(詩、短歌、陶芸、俳句、水墨、つまみ絵、紙人形、粘土人形)
●第七部：いけ花

◆出品申し込み：公民館にある申し込み書により十月二十日(土)までに教育委員会、公民館へ提出してください。

酒害相談



◆とき：酒害相談日は第一第三日曜日で午後二時～午後四時
例会は毎週土曜日で午後七時～九時

◆ところ：役場協賛資料館二階

個人秘密は厳守しますので、お気軽に相談してください。

※詳しいことは、教育委員会、公民館(☎〇七二二八)へおたずねください。

酒害相談

◆とき：酒害相談日は第一第三日曜日で午後二時～午後四時
例会は毎週土曜日で午後七時～九時

◆ところ：役場協賛資料館二階

個人秘密は厳守しますので、お気軽に相談してください。

※詳しいことは、教育委員会、公民館(☎〇七二二八)へおたずねください。



好きな人もいますが、従来はほとんど男の人の遊びでした。素早く決断して、ひとつの手に勝負をかけることを爽快と思うが、恐い

勝負ごとの勧め

勝つために全力をつくしても運が悪かったり、実力が不足して負けることがある。いさぎよく負けることを学ぶのも大切ですが、怒ったり不機嫌になったりしてはならないのです。最近の若い女性の中には、碁を打つ人もマージャンの

と思うかがゲームを好むか好まないかの分かれ目になるでしょう。

親がせっかく教えても子供があまり好きにならないということもあります。それはそれで仕方がないことですが、子供に人生のおもしろさや古くからわが国に

伝わっている遊びの楽しさを教え、生きていくことの可能性を豊かにしてやることは親の努めだと思います。

公民館からのお知らせ

●とき：十月九日(火)
午前九時三十分から
◆ところ：町民会館茶室改善室
●会費：六〇〇円
●講師：えぶろん

●婦人大学
●とき：十月十八日(木)
午前十時から
◆ところ：亀田町公民館
●テーマ：「私たちの暮らしとゴミ処理」
●講師：川上忠先生

渡辺弘子先生

●申し込み：十月三日まで
公民館へ電話でもかまいません。

●福寿大学
●とき：十月十八日(木)
午前十時から
◆ところ：亀田町公民館
●テーマ：「私たちの暮らしとゴミ処理」
●講師：川上忠先生

父親が小学生くらいの年齢の子供に接する仕方はいろいろありますが、その一つにゲームとか勝負ごを教えるということがあります。トランプ、碁、将棋、マージャン、花札です。これらはどれもルールがはっきりと決まっています。ルールを厳しく守りながら勝ち負けを争う遊びです。子供にマージャンや花札を教えるのはよくないことだという人もいるかもしれませんが、確かに小学生がお金をかけてマージャンをし

しむのは良いことだと思いません。子供が男の子であっても女の子であっても同じです。これらの遊び方から得るものの第一は決められたルールをお互いがきちんと守り、その中で勝つために一生懸命に考えようということ

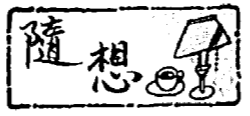
勝つために全力をつくしても運が悪かったり、実力が不足して負けることがある。いさぎよく負けることを学ぶのも大切ですが、怒ったり不機嫌になったりしてはならないのです。最近の若い女性の中には、碁を打つ人もマージャンの

と思うかがゲームを好むか好まないかの分かれ目になるでしょう。

親がせっかく教えても子供があまり好きにならないということもあります。それはそれで仕方がないことですが、子供に人生のおもしろさや古くからわが国に

第3日曜日は 家庭の日

楽しくすごしましょう



随想

黄昏の歌

西町二川 島仙治



たそがれの大空は淡く
時をさして 鳥の影
うたいつつゆく

私は明治四十二年生まれの七十五歳。
人生の黄昏時を歩いている一人です。
こんな私が五年程前から短歌に興味を持つようになった。
と、言っても和歌や短歌の作法は知らず、先生にもつかず、まったくの我流で三十一文字を連ねているだけのことです。
歌道に心得のある方々が二覧になれば、文芸価値のない駄作と失笑を買うことでありましょう。
若い頃は、人様から笑わ

れることに堪え難い苦痛を感じましたが、今の私はそれ程感じなくなりました。駄作に愚作を重ね、もっぱらねぐらをさして歩き続けたいと思っています。
朱の丸をもらえばうれし
はるかなる
昔のこの暇に
うかぶ
私は、六年前から町のレインボーランの書道クラブに入れて戴き、月二回毛筆習字を練習しています。時々、講師の先生から赤い丸をつけて戴きます。そんな時、若い女の先生から書き方の時間に丸を戴き胸をはずませた小学生の頃が思い出されて、とても楽しい気分になれるのです。もはや字の上達は望み薄ですが、大勢の人との出会いが楽しく、もう暫く町民会館通いをしたいと思っています。
勝てばよし負けても
たのしみの妙味
ただひたすらに
考えるとき
これは負け惜しみでしようか。
考えて、苦しんで勝った時の気分は痛快そのもの。

勝つことを目的として誰かが腕を磨きます。私ももちろんそうでしたが、今は自分の思考力の限界を覚ったせいか、勝敗にこだわらなくなりました。考えて、決断して石を置く、それだけで充分楽しさが味われます。
碁は、頭の体操として値打ちがあると思います。囲碁クラブにも加入させて戴き、やはり月二回の福寿荘通いを楽しんでます。クラブで少し気になることは、初心者の方が少ないことです。
碁を覚たい方から気軽に加入戴きたいと思つて、そして一緒に鳥籠の戦いを通し、交友の論が拡がるように努めたいと思つて、
濃淡や線質の妙を
悟らむと
ふるるる手にて
竹の葉を描く
昨年四月、レインボーランに水墨画クラブが誕生しました。
オッチョコチョイで物好きな私は、早速加入させて戴きました。
竹の葉を描くことから始まり、花、植物、静物、風

景と数多く水墨画の手ほどきを受けています。
しかし、どうもいけません。肝心の筆を持つ右手がふるえて思うような線が引けないのです。
若い時、野球で突き指をしその後遺症で指三本がほとんど使えないのです。
水墨画は私には無理なようです。碁囲碁が楽しいので脱落しないで、福寿荘通いをしたいと思つていま

景と数多く水墨画の手ほどきを受けています。
しかし、どうもいけません。肝心の筆を持つ右手がふるえて思うような線が引けないのです。
若い時、野球で突き指をしその後遺症で指三本がほとんど使えないのです。
水墨画は私には無理なようです。碁囲碁が楽しいので脱落しないで、福寿荘通いをしたいと思つていま

景と数多く水墨画の手ほどきを受けています。
しかし、どうもいけません。肝心の筆を持つ右手がふるえて思うような線が引けないのです。
若い時、野球で突き指をしその後遺症で指三本がほとんど使えないのです。
水墨画は私には無理なようです。碁囲碁が楽しいので脱落しないで、福寿荘通いをしたいと思つていま

違反建築物防止週間

十月十一日から十七日までを、違反建築物防止週間とし、十二日には、全国いっせいに公開パトロールが実施されます。建築工事現場には必ず確認表示板を掲示しましょう。

違反建築物防止週間
十月十一日から十七日までを、違反建築物防止週間とし、十二日には、全国いっせいに公開パトロールが実施されます。建築工事現場には必ず確認表示板を掲示しましょう。

短歌

本間 笑子
夜ふけて息子の音もなく帰
りしを意識の底に持ちて眠
れり

鈴木 八千代
はたはたと素肌に触れると
うきびの葉すれこそばゆ里
の畑に

斎藤 吉江
夕光の斜めに射すに若き等
は未だボートこぐ高原の池
に

渡辺 和子
決断に迷いあぐねて佇つ庭
の幹太ぶととひまわりの花

富樫 金井
松風に日目をこもりし病室
に庭の紅葉を連れ来ぬ

栗田ひとみ
腹見せていまだも動く蛸
ひ命のびよと枝に乗せやる

塩井 三作
庭石に蜻蛉は頭を廻しりて
黒猫ひそかに過ぎてゆきた
り

関本 清美
蝉一つつべの庭に鳴き馴れ
て暮るるまでの間を命じん
じんと

吉田はるえ
滔々と流れ逆まく浦佐環入
りの陽光に七彩たもつ

荒井 てる
真夜に起き病室見廻る看護
婦の静かな足音階下に消え
ゆく

富樫 金井
松風に日目をこもりし病室
に庭の紅葉を連れ来ぬ

栗田ひとみ
腹見せていまだも動く蛸
ひ命のびよと枝に乗せやる

塩井 三作
庭石に蜻蛉は頭を廻しりて
黒猫ひそかに過ぎてゆきた
り

関本 清美
蝉一つつべの庭に鳴き馴れ
て暮るるまでの間を命じん
じんと

吉田はるえ
滔々と流れ逆まく浦佐環入
りの陽光に七彩たもつ

荒井 てる
真夜に起き病室見廻る看護
婦の静かな足音階下に消え
ゆく

富樫 金井
松風に日目をこもりし病室
に庭の紅葉を連れ来ぬ

栗田ひとみ
腹見せていまだも動く蛸
ひ命のびよと枝に乗せやる

塩井 三作
庭石に蜻蛉は頭を廻しりて
黒猫ひそかに過ぎてゆきた
り

関本 清美
蝉一つつべの庭に鳴き馴れ
て暮るるまでの間を命じん
じんと

吉田はるえ
滔々と流れ逆まく浦佐環入
りの陽光に七彩たもつ

荒井 てる
真夜に起き病室見廻る看護
婦の静かな足音階下に消え
ゆく

富樫 金井
松風に日目をこもりし病室
に庭の紅葉を連れ来ぬ

栗田ひとみ
腹見せていまだも動く蛸
ひ命のびよと枝に乗せやる

塩井 三作
庭石に蜻蛉は頭を廻しりて
黒猫ひそかに過ぎてゆきた
り

関本 清美
蝉一つつべの庭に鳴き馴れ
て暮るるまでの間を命じん
じんと

吉田はるえ
滔々と流れ逆まく浦佐環入
りの陽光に七彩たもつ

荒井 てる
真夜に起き病室見廻る看護
婦の静かな足音階下に消え
ゆく

富樫 金井
松風に日目をこもりし病室
に庭の紅葉を連れ来ぬ

栗田ひとみ
腹見せていまだも動く蛸
ひ命のびよと枝に乗せやる

塩井 三作
庭石に蜻蛉は頭を廻しりて
黒猫ひそかに過ぎてゆきた
り

関本 清美
蝉一つつべの庭に鳴き馴れ
て暮るるまでの間を命じん
じんと

吉田はるえ
滔々と流れ逆まく浦佐環入
りの陽光に七彩たもつ

荒井 てる
真夜に起き病室見廻る看護
婦の静かな足音階下に消え
ゆく

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

俳句

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦紅
手こたえのあり泥じょうつつ秋出水

黒竹の幹黒々と竹の春
大根を時きしや嫁の決まりしや

倒れたる二反の稲を刈りなやむ
萩咲いて関守石をかくしけり

美しくしき流れに沿うて月の径
この村に生れし如く踊るなり

夜学子に二三の指圖書を閉じし
晩涼や繫留船は煌々と

阿らず街はずおこらず吾亦

